

令和3年4月30日

各位

会社名 クボデラ株式会社  
(コード番号 9261 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 窪寺 伸浩  
問合せ先 取締役管理部長 榎本 稔  
TEL 03-3386-1153  
URL <https://kubodera.co.jp/>

### 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和2年12月15日に公表した「令和3年4月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)」において未定としておりました令和3年4月期通期業績予想及び期末配当予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想について

##### (1) 令和3年4月期通期業績予想の修正(令和2年5月1日～令和3年4月30日)

(単位:百万円)

|                        | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A)              | —     | —    | —    | —     | —              |
| 今回修正予想(B)              | 1,545 | 14   | 15   | 8     | 3円72銭          |
| 増減額(B-A)               | —     | —    | —    | —     |                |
| 増減率(%)                 | —     | —    | —    | —     |                |
| (ご参考)前期実績<br>(令和2年4月期) | 1,632 | 27   | 8    | △11   | △5円41銭         |

##### (2) 修正の理由

令和3年4月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、直近の営業状況を踏まえ、現時点において入手可能な情報をもとに公表するものであります。

木材業界、建築業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響はまだ終わっていないばかりか、さらに深刻度を深めています。中国及び米国の経済の上向きによって木材価格が高騰して、海外からの木材が日本国内に入りにくくなっております。それに伴って、木材自給率が30パーセントにも満たない日本では、国産木材や建材等も価格が高騰しております。さらに、建築業界

におきましては、木材不足のため、構造プレカット工場が稼働できない状況にもなっております。こうした中、売上高につきましては前期実績を下回る見込みであります。経常利益、当期純利益につきましては、補助金等の営業外収益の増加のため、前期実績を上回る見込みであります。

なお、現時点におきましても新型コロナウイルス感染症の終息時期につきましては不透明な状況が続いていることから、当予想は変動する可能性があります。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

## 2. 配当予想について

### (1) 令和3年4月期 期末配当予想

|                        | 年間配当金(円) |      |      |
|------------------------|----------|------|------|
|                        | 中間期末     | 期 末  | 年 間  |
|                        | 円 銭      | 円 銭  | 円 銭  |
| 前回発表予想<br>(令和2年12月15日) |          | —    | —    |
| 今回修正予想                 |          | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績                   | 0.00     |      |      |
| 前期実績<br>(令和2年4月期)      | 0.00     | 0.00 | 0.00 |

### (2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要政策として認識し、業績の状況、取り巻く環境及び中長期を展望した財務体質を勘案し、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としております。

令和3年4月期の期末配当予想につきましては、通期業績予想を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、今回公表の通期業績予想を踏まえつつ、将来の事業展開に向けた内部留保金の確保等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではありますが、無配に修正させていただきます。

以上